

協議事項(1):地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

(1)事業評価の目的について

地域公共交通網形成計画との関連性や、地域全体の交通ネットワークにおける補助対象事業の位置づけを整理し、地域全体の交通網を踏まえた評価及び見直しをすることを目的とします。

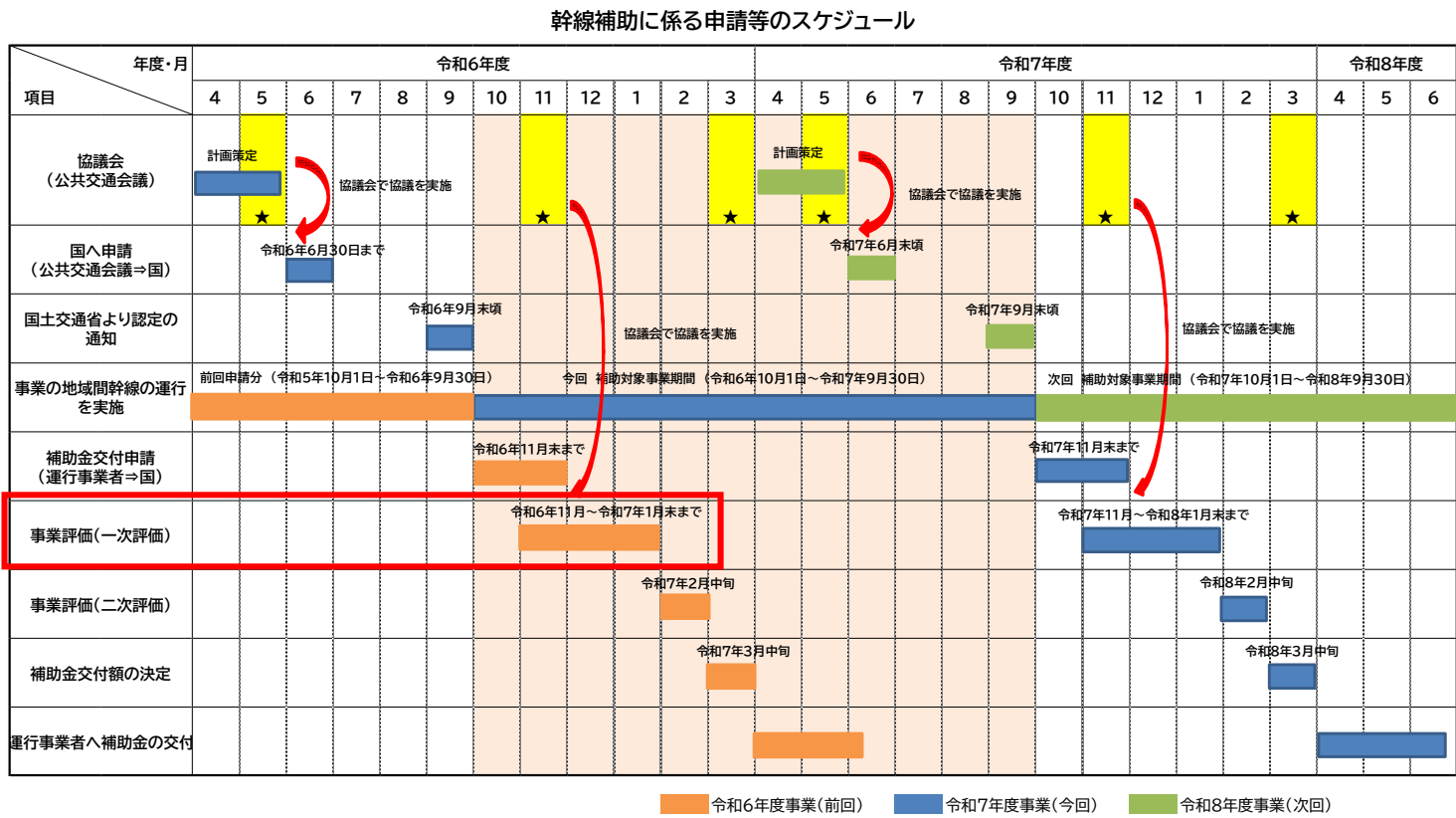
(2)評価・検証の考え方

公共交通ネットワーク全体としては、計画期間の最終年度に知立市総合公共交通会議にて評価・検証等を実施することを基本としますが、毎年度実施する個別事業の評価・検証を踏まえ、必要に応じてネットワーク全体の評価を適宜実施するとともに、バス路線の見直し等を実施します。

個別事業については、毎年度、各事業主体や事務局が実施状況や目標値の達成状況を評価・検証するとともに、目標値を達成できていない場合の要因の分析を踏まえ、改善策を検討した上で、知立市総合公共交通会議へ諮ります。

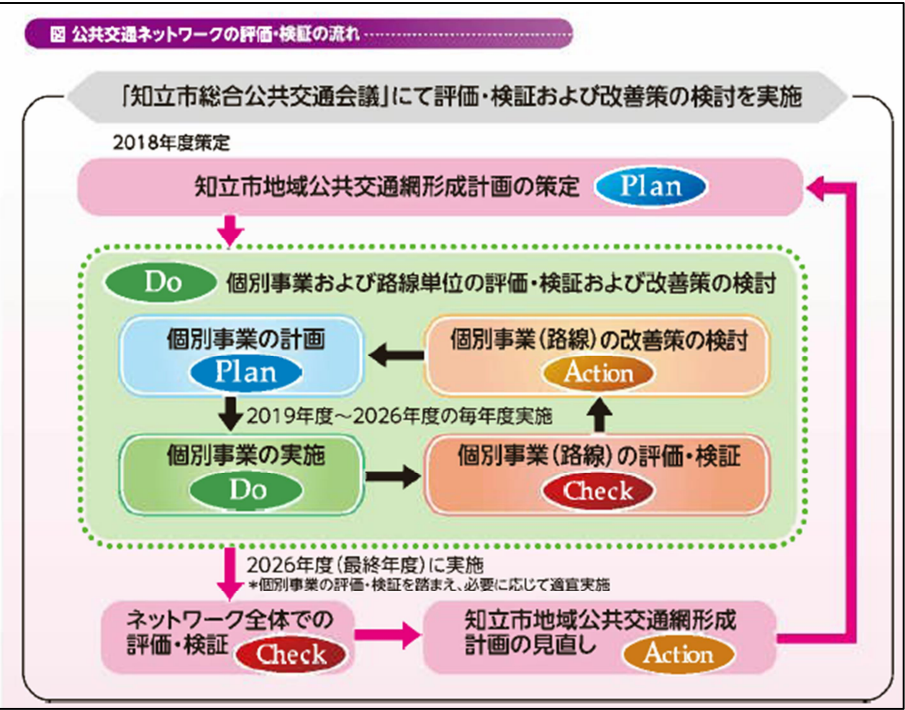
(3)事業評価対象期間

令和6年度補助対象事業実施期間
令和5年10月1日～令和6年9月30日



(3)今後の流れ

令和7年1月17日までに国へ提出し、国による事業評価(二次評価)が行われます。
事業評価をもとに補助金交付決定及び額が確定し、運行事業者へ補助金が交付されます。



2. 目標の達成状況と今後の方針

系統	目標値	実績値	達成状況
2コース	31,511 人	32,528 人	達成
3コース	61,759 人	76,677 人	達成
4コース	28,072 人	34,465 人	達成

【令和6年度の実施状況】＜事業評価を踏まえた取り組み＞

系統	運営主体の取組
2コース	他のコースと比較し利用率が低いため、運行ルートの見直しを検討する。 具体的には、三河知立駅が移設開業されたことに伴い、乗り入れニーズを図るため、周辺住民や駅利用者、公式 LINE アカウント上で広くアンケート調査を実施した。 また、車両が古く整備等で代車運行も頻繁に起きていたことから、令和6年度に新車両を導入し、より快適に利用してもらえるようにした。
3コース	子育て世代の認知度が低いため、令和5年11月に「ちりゅうこどもフェスティバル」にバス車両を持ち込み、実際に子供たちにバスの乗車体験や写真撮影等を行うことで、ミニバスに親しみをもってもらおうよう啓発活動を行った。
4コース	高齢者の利用も多いため、知立市老人クラブの会員を対象とした「ミニバス講座」を開催し、ミニバスの乗り方や無料パスポートの利用方法を周知した。

【今後の取組】＜R6年度、R7年度に行う取り組み＞

系統	運営主体の取組
2コース	三河知立駅移設に伴うアンケート調査の結果等をもとに、今後運行ルートやダイヤの見直しの検討を行うことで、乗車人数の増加を目指す。
3コース	市内の子ども向けイベントにてバスの乗車体験を行い、バスへの認知度が低い子育て世代の認知度を向上させることで、新たな利用者層の開拓を行う。
4コース	高齢者に対する利用促進のため、引き続き「ミニバス講座」の開催等を行い、新たな利用者の開拓を行う。

全体では、現利用者の利用促進のため、引き続き広報・ホームページ・公式 LINE アカウントを活用し、最新の情報を提供していきます。

【 余 白 】